

授業科目 救急法実習 I

【担当教員名】 大滝 弘		対象学年	2	対象学科	スポ	
		開講時期	前期	必修選択	選択	
		単位数	1	時間数	30	
【ディプロマポリシーとの関連性】						
知識・理解		思考・判断		関心・意欲		
◎		◎		◎		
【概要・一般目標：G10】 スポーツ指導者として現場で必要な救急法の実践能力を習得することはもとより、救急法を学ぶことにより指導者として高い安全知識と事故防止に対する能力を身につける。						
【学習目標・行動目標：SBO】 救急法の理論を正しく理解し、より合理的な実践能力と判断力を養う。 1. 傷病者に対する適切な観察力と判断力を身につける。 2. 傷病者（意識障害、呼吸停止、心停止、大出血、服毒、熱傷）に対しての正しい応急手当ができる。 3. 救急処置（一次救命処置、AED、RICE、緊急時の対応）を理解し実践できる。 4. 事故、災害に対する安全知識を身につける。						
回数	授業計画・学習の主題				SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	救急法の目的と救命の連鎖について					期末テスト（理論）
2	救急処置における遵守事項と実施上の注意点					
3	救急処置の基本（観察、体位、保温、接し方について）					
4	救急処置 一次救命処置 BLS（CPR、AEDの重要性、CPR中止の判断）					
5	救急処置 一次救命処置 CPR（呼吸を見る、心停止の判断）					
6	救急処置 一次救命処置 CPR（胸骨圧迫、循環の生理、胸骨圧迫の方法）					
7	救急処置 一次救命処置 CPR（気道確保の方法、人工呼吸の生理と方法）					
8	救急処置 一次救命処置（AEDに関する知識、AEDを用いた除細動とCPRの手順）					
9	救急処置 一次救命処置 実習（CPR＋AED 一連動作）1					
10	救急処置 一次救命処置 実習（CPR＋AED 一連動作）2					
11	救急処置 一次救命処置 テスト（CPR＋AED）1					
12	救急処置 一次救命処置 テスト（CPR＋AED）2					
13	救急処置 一次救命処置（心肺蘇生法に伴う副損傷と気道内異物の除去）（死線期呼吸、呼吸原性心停止）					
14	救急処置（心肺蘇生法が必要となる特殊な状況、子供に対する一次救命処置）					
15	救急処置（手当ての基本と一次救命処置についての理解）					
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)		救急法講習教本	日本赤十字社	日赤会館	2011・3,000円・実習 教材セット(3000円)	
		公認アスレティックトレーナー 専門テキスト 第8巻 救急処置	日本赤十字社	日本体育協会	2007・3,100円	
参考書		スポーツ現場における 救急処置のポイント	浅井宏祐	文光堂	1998・7,350円	
その他の資料		目で見える救急処置法	東京消防庁	東京法令	2004・3,990円	
【評価方法】 出席 実技テスト 期末試験（理論）			【履修上の留意点】			